

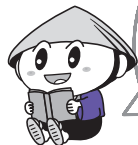
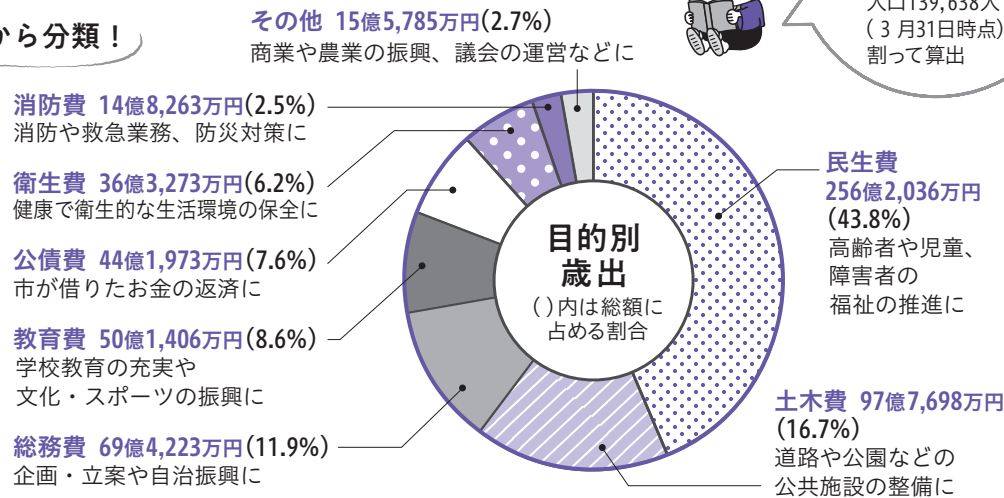
歳出
〔支出〕

総額 584億4,657万円
前年度比 43億1,555万円増(8.0%増)

歳出を2つの観点から分類！

目的別
分類

歳出を福祉や公共施設整備、教育のためなど、行政目的の観点から分類

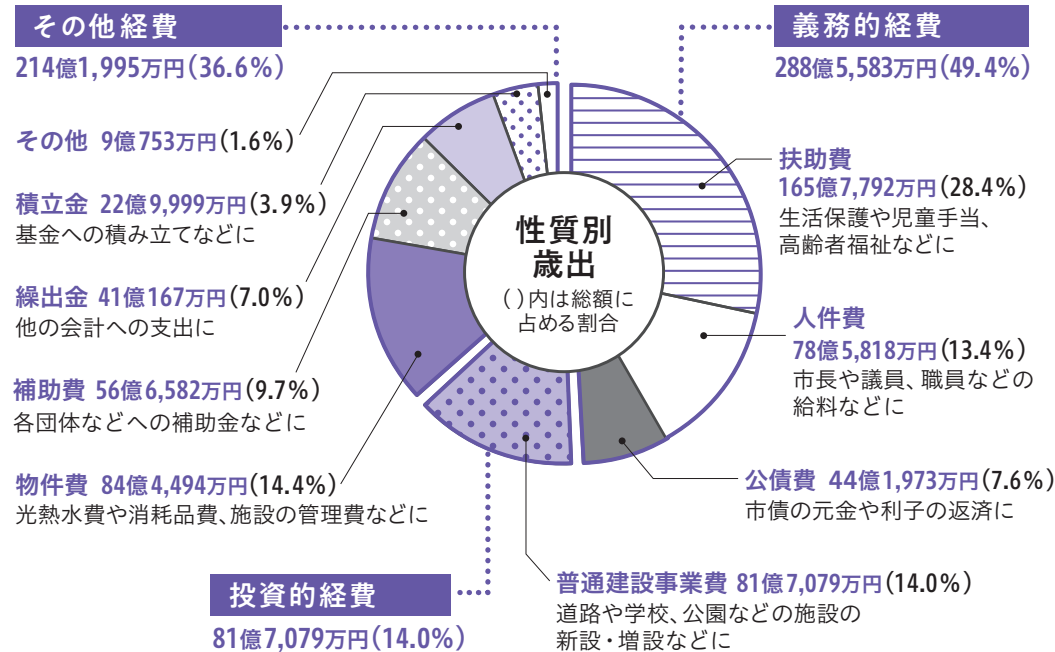


市民
1人当たりの
サービス額は
41.9万円たび！

※歳出総額を
人口139,638人
(3月31日時点)で
割って算出

性質別
分類

歳出を経済的性質(物品購入、給与支払い)の観点から分類。どのような経費がかかっているかや、必要経費(義務的経費)はどのくらいあるかなど、予算の弾力性や行政運営経費の内容



特別会計

特定の歳入を特定の歳出に充てて経理する会計です。

●特別会計の内訳

区分	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	114億5,334万円	113億9,928万円	5,406万円
財産区	4億5,711万円	4億5,711万円	0万円
学校給食センター	10億9,100万円	10億9,086万円	14万円
介護保険	98億5,520万円	97億4,146万円	1億1,374万円
後期高齢者医療	17億9,474万円	17億9,111万円	363万円

※地方公営企業法を適用している水道事業と下水道事業は除く

くさつの家計簿

問 財政課(3階) ☎561-2304、FAX561-2483

市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんの納めた税金などがどのように使われているかをお知らせしています。市の財政を身近に感じてもらえるよう、令和5年度の決算概要や市の財政状況をまとめました。

令和5年度 決算状況



昨年度のお金の
使われ方を見よう
たび！

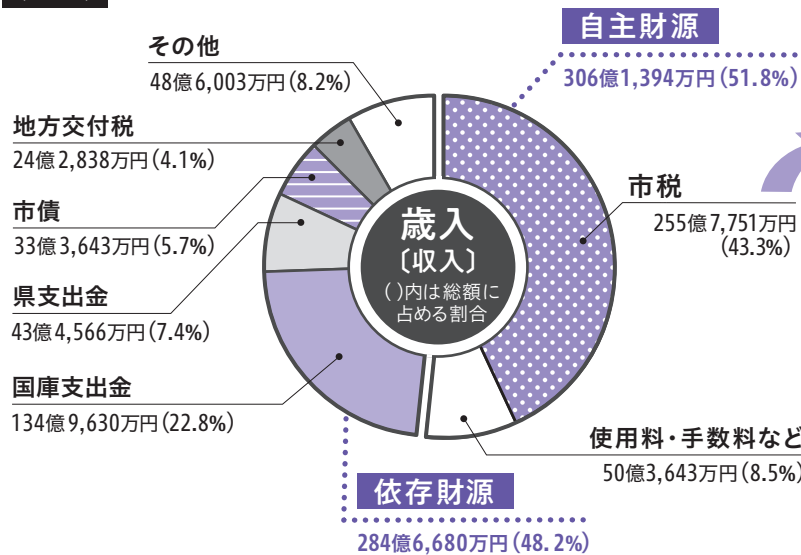
※四捨五入の関係で、値が合わない場合があります

一般会計

一般会計は、行政の基本的な経費を、市税などを主な財源として経理する会計です。
歳入から歳出を引いた6億3,417万円のうち、令和6年度に繰り越した事業の財源を除いた5億5,229万円が黒字額で、56年連続の黒字となりました。

歳入
〔収入〕

総額 590億8,074万円
前年度比 40億1,717万円増(7.3%増)



市民1人当たりの市税負担15.3万円

※市税(法人などを除く)を人口139,638人(3月31日時点)で割って算出

●市税の内訳

項目	金額
市民税	120億5,928万円
固定資産税	104億2,293万円
都市計画税	18億8,210万円
市たばこ税	8億9,403万円
軽自動車税	3億1,642万円
入湯税	275万円



用語の
解説

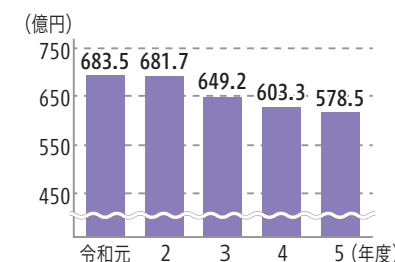
市税	市に納められる税金
国庫支出金	市が行う特定の事業に対して国が支出するお金
県支出金	市が行う特定の事業に対して県が支出するお金

市債	多額の費用が必要な場合などに行う市の借金
地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
自主財源	市が自主的に収入できるお金
依存財源	国や県によって定められた額の交付金

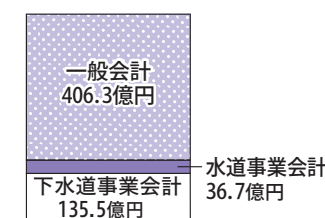
市債(長期借入金)

主に道路や学校、下水道など、長期間使用する施設を整備するときの財源の一部にします。令和5年度は、新たな借入額を返済額より少なくし、残高を減らしています。

■市債残高の推移



■市債残高(578.5億円)の内訳



基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使います。

■現在高 213億3,365万円
財政調整基金 67億3,805万円、減債基金 49億8,263万円、まちづくり基盤整備基金 41億8,894万円など11基金

財産

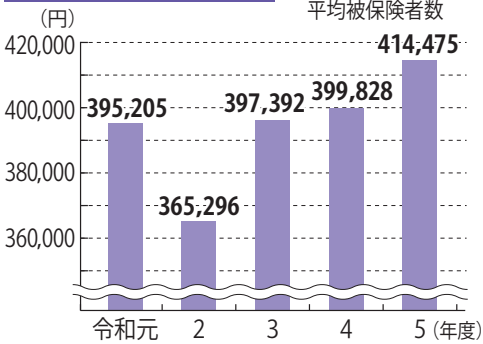
■公有財産

土地/177.5万㎡、建物/延べ床面積39万㎡、有価証券/2,831万円、出資金(特定の協会や公社などへの出資金)/14億9,717万円

昨年度比
14.6億円
増

1人当たりの療養諸費

※医療費用額(10割)÷平均被保険者数



昨年度の国民健康保険事業特別会計の決算の状況は、一般被保険者国民健康保険税が見込額を上回ったことなどにより、5,406万円の黒字となりました。

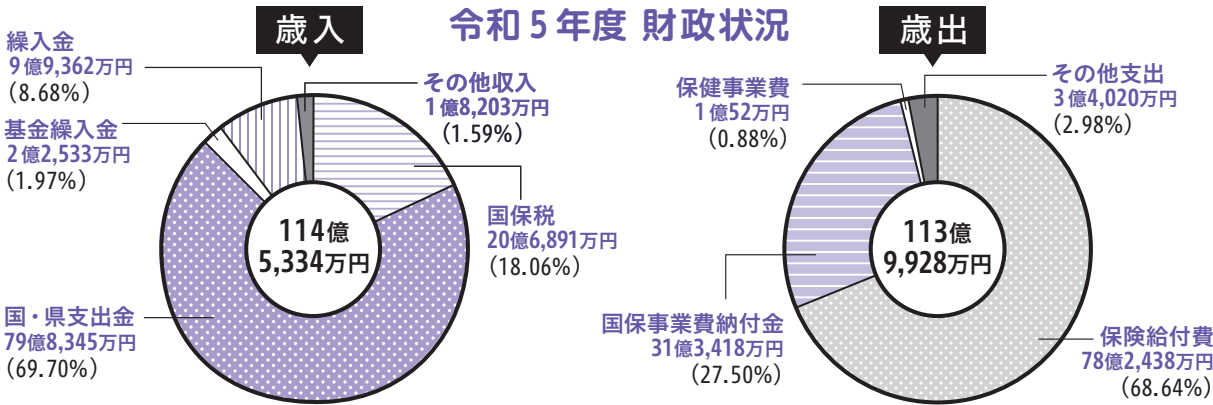
1人当たり医療費は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えに伴い、金額が減少しましたが、令和3年度以降は増加しており、コロナ禍前よりも高くなっています。

今後も安定した国保財政を運営するため、被保険者一人一人が年に1回の特定健診やがん検診を受診するなど、健康管理に努め、健康増進に心掛けることが必要です。

特別会計の運営状況

令和5年度

国民健康保険の運営状況



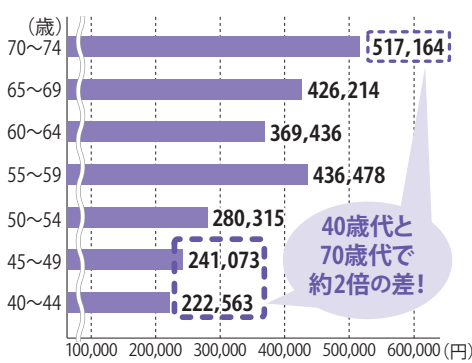
用語の解説

国保税 国民健康保険加入者からの税金
国・県支出金 国と県からの負担金や補助金
基金歳入金 国民健康保険準備積立金から繰り入れた財源
歳入金 一般会計から繰り入れた財源
その他収入 前年度からの繰越金など

保険給付費 被保険者に給付した医療費、出産・葬祭費など
国保事業費納付金 都道府県が国民健康保険事業を行うために市町村から徴収する費用
保健事業費 被保険者の健康保持増進事業のための事業費
その他支出 還付金や補助金の返還金など

①年齢階層別1人当たり医療費

(1人/年間、令和4年度)

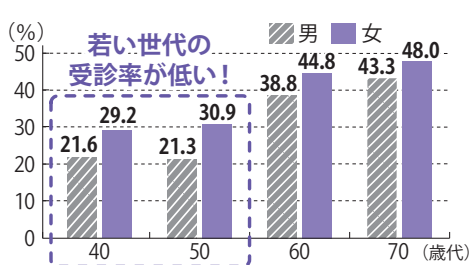


あなたの健康のために毎年健診を受けましょう。早めの受診をお勧めします。

近年、糖尿病などの生活習慣病の人が増加しています。生活習慣病は自覚症状が乏しいため、気付いたときには病気が進行していることがあります。重症化すると、日常生活を送ることが困難になり、重い後遺症が残ることもあります。また、多額の医療費負担にもつながります。

グラフ①は、市の国民健康保険被保険者の1人当たり医療費を示しています。年代が高くなるほど、医療費が高くなる傾向にあります。医療費の中で、生活習慣病は約3割を占めるといわれています。生活習慣病を予防するために、年1回は特定健診を受診するなど、自分自身の健康状態を把握することが大切です。

②特定健診受診率(令和4年度)



冬場の健診について

冬場はインフルエンザ予防接種などと重なり、医療機関によっては健診の受付を制限している場合があります。医療健診を受診する際は、医療機関にお問い合わせください。



約9,000円の健診が無料たび!

特定健診は受けましたか?

④ 来年2月28日(金)まで

グラフ②は、特定健診の受診率です。40~50歳代の受診率が低い状況です。生活習慣病の予防や早期発見、重症化のリスクを減らすには、40歳代から健康状態を定期的にチェックすることが大切です。

草津市国民健康保険加入者は、約9千円の健診が無料で受けられます。また、2月末までに特定健診を受けましょう。

問 保険年金課(1階) ☎561-2366、FAX561-2480

財政指標 早期健全化基準値内に収まる良好な水準でした

財政指標とは、全国で統一されている指標で、自治体の財政の健康診断に用いられます。財政の健全性を表す4つの指標は、いずれも基準を超えておらず、市の財政指標は良好な水準です。

令和5年度決算 健全化判断比率・資金不足比率

区分	内容	草津市	県内市平均 (加重平均・速報値)	早期健全化基準 (危険信号※2)
実質赤字比率	普通会計(一般会計と他1会計)の赤字額の標準財政規模※1に占める比率	- 赤字なし! -	-	11.8%
連結実質赤字比率	全会計(財産区を除く)の赤字額の標準財政規模に占める比率	- 赤字なし! -	-	16.8%
実質公債費比率	全会計(財産区を除く)での借入金の返済額のうち、主に市税によって返済した額の標準財政規模に占める割合	4.7%	4.0%	25.0%
将来負担比率	全会計(財産区を除く)や外郭団体などを含めて、主に市税によって今後負担すると見込まれる負債の標準財政規模に占める比率	-	-	350.0%
資金不足比率	資金不足比率の対象は、水道・下水道事業会計の2会計	資金不足なし!		経営健全化基準 20.0%

※1 市税と交付税などの合計額で、市の一般財源の標準的な大きさを示す

※2 この基準を超えると、財政再建に取り組む必要がある

令和6年度 予算の執行状況 4~9月のお金の動きをお知らせします。(令和6年9月末時点)

●一般会計

歳入歳出予算額	歳入収入率	歳出執行率
651億6,914万円	38.6%	41.9%

●特別会計

区分	歳入歳出 予算額	歳入 収入率	歳出 執行率
国民健康保険	115億5,433万円	30.7%	34.9%
財産区	2億1,450万円	79.7%	52.4%
学校給食センター	12億1,180万円	14.2%	34.6%
介護保険	102億6,390万円	39.5%	40.6%
後期高齢者医療	20億2,563万円	32.6%	36.6%

●特別会計のうち公営企業会計

区分	収入予算額	収入率	支出予算額	執行率
水道	25億9,900万円	50.9%	23億1,200万円	39.6%
下水道	39億4,300万円	42.4%	35億円	41.7%

市では、将来にわたって持続的に発展していけるよう「草津市健全で持続可能な財政運営および財政規律に関する条例」「財政規律ガイドライン」を定めています。財政規律の確保を図るとともに、市民ニーズの変化に合わせて事業の見直しを進め、引き続き健全な財政運営の維持に努めます。

